

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 登録実用新案公報(U)

(11) 実用新案登録番号
実用新案登録第3145584号
(U3145584)

(45) 発行日 平成20年10月16日(2008.10.16)

(24) 登録日 平成20年9月24日(2008.9.24)

(51) Int.Cl. F 1
DO6F 57/12 (2006.01) DO6F 57/12 J
A47B 46/00 (2006.01) A47B 46/00 501B

評価書の請求 未請求 請求項の数 1 書面 (全 4 頁)

(21) 出願番号 実願2008-3792 (U2008-3792)
 (22) 出願日 平成20年5月8日(2008.5.8)

(73) 実用新案権者 307016685
 伊賀 紀三郎
 高知県高岡郡四万十町久保川85番地5
 (72) 考案者 伊賀 紀三郎
 高知県高岡郡四万十町久保川85番地5

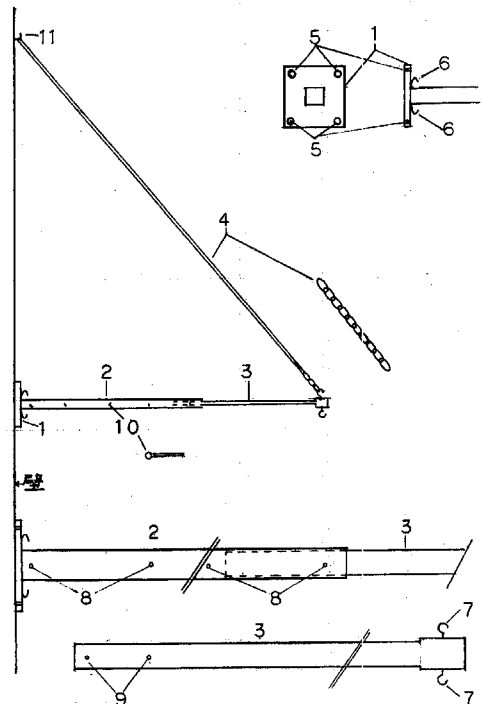
(54) 【考案の名称】 水平自在バー

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】 壁にくっつくことのないように物を掛けたり、簡単に棚を作る事ができる水平自在バーを提供する。

【解決手段】 固定板1を壁に釘等で固定するよう4角に穴を開け、上下に吊す事が出来るようにフック6を付ける、アームは四角又は丸方のパイプとし、固定部2に10センチメートル程度の間隔で数個穴を開ける、移動部のアーム3はスライド出来るように固定部のパイプの内径より外径がやや小さい径とし、元の方に5センチメートル程度の間隔で2カ所穴を開け長さを調節しピン等で固定できるようにする、又、先端部には上下にチェーン4と、吊す物を掛けるためのフック7を取り付けて、水平自在バーとする。

【選択図】 図1



【実用新案登録請求の範囲】

【請求項 1】

固定板を壁に釘等で固定するよう 4 角に穴を開け、上下に吊す事が出来るようにフックを付ける、アームは四角又は丸方のパイプとし、固定部に 10 センチメートル程度の間隔で数個穴を開ける、移動部のアームはスライドが出来るように固定部のパイプの内径より外径がやや小さい径とし、元の方に 5 センチメートル程度の間隔で 2 カ所穴を開け長さを調節しピン等で固定出来るようにする、又、先端部には上下にチェーンと吊す物を掛けるためのフックを付ける。

【考案の詳細な説明】

【技術分野】

10

【0001】

本考案は、容易に壁等に取り付けが出来、壁に物がふれる事なく掛けられる事と、複数組み合わせる事で、棚を作ったり、四角（六角・八角）に組み合わせ物で物を吊す事の出来るバー。

【背景技術】

【0002】

壁に直接物を掛けると、斜めになったり、壁にくっついて双方が汚れてしまう。

【考案が解決しようとする課題】

【0003】

壁に、くっつくことのないように物を掛けたり、簡単に棚を作る事が出来る。

20

【課題を解決するための手段】

【0004】

壁にバーを取り付け、掛ける物の大きさに合わせ、バーの長さを調節し、壁に直接物がくっつく事がなく、物を掛ける事が出来る。又、バーを複数組み合わせ、バーに板を乗せて棚としての利用も出来る。

【考案の効果】

【0005】

本考案のバーを壁に取り付ける事で、洗濯物等が壁にくっつく事なく吊す事が出来る、又、誰でも簡単に、棚を作る事が出来る。

【考案を実施するための最良の形態】

30

【0006】

バーを、壁に固定しバーの長さを、掛ける物のに合わせ水平にセットする、又、同様に複数セットし板を乗せ、棚として利用する（[図 1] の 6・7 の上下を吊し 2 段以上の棚も可能）、壁を利用しなくても固定板の裏面を張り合わせて（三角以上に組み合わせも可能）つり下げる事で、複数の物を掛ける事や棚を作る事が出来る。

【図面の簡単な説明】

【0007】

【図 1】本考案の、水平自在バーの図面である。

【符号の説明】

【0008】

40

1 は固定板

2 はアーム（固定部）

3 はアーム〔移動部〕

4 はチェーン（ワイヤーも可）

5 は釘（ビス）穴

6 はフック（固定部）2 段以上に利用するときチェーン等で吊す。

7 はフック（アーム）

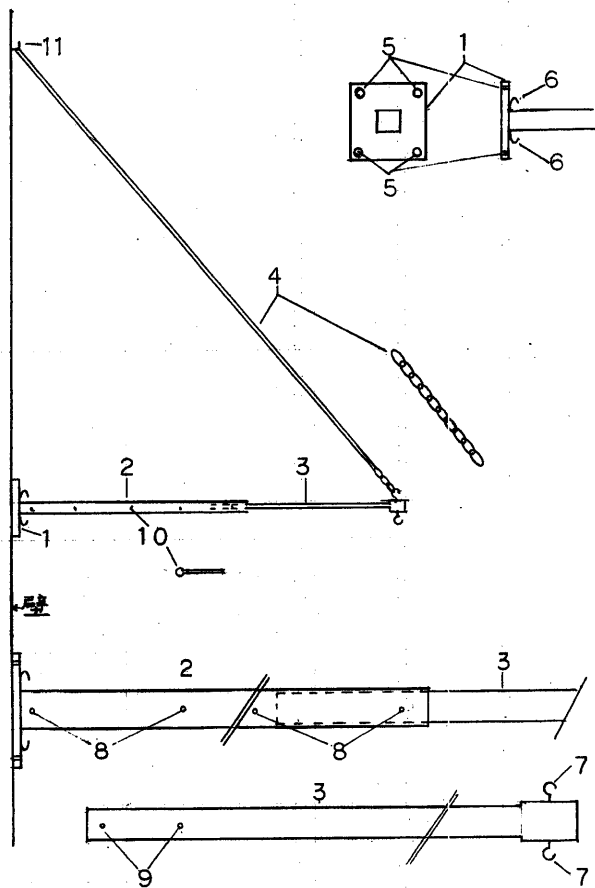
8 はピン止め穴（固定アーム部）10 センチメートル程度の間隔で開ける。

9 はピン止め穴（移動アーム部）5 センチメートル程度の間隔で元の部分に 2 カ所開ける、これにより 5 センチメートル単位で伸縮が可能となる。

50

10 はアームの固定ようピン
11 は止め金具

【 図 1 】



【手続補正書】

【提出日】平成20年7月4日(2008.7.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】実用新案登録請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【実用新案登録請求の範囲】

【請求項1】

固定板を壁に釘等で固定するよう4角に穴を開け、上下に吊す事が出来るようにフックを付ける、アームは四角又は丸方のパイプとし、固定部に10センチメートル程度の間隔で数個穴を開ける、移動部のアームはスライドが出来るように固定部のパイプの内径より外径がやや小さい径とし、元の方に5センチメートル程度の間隔で2カ所穴を開け長さを調節しピン等で固定できるようにする、又、先端部には上下にチェーンと、吊す物を掛けるためのフックを取り付けた水平自在バー。